NY マーケットレポート（2016 年 12 月 7 日）

NY 市場では、米国債利回りの低下が続いたことから、序盤からドル円・クロス円は軟調な動きとなった。また、OPEC の減産合意が順守できるか懐疑的との見方が広がっていることや、米石油在庫統計で、原油の引き渡し地点の在庫が増加したことを受けて、原油価格が 50 ドル台割れとなったことも影響し、一段の下落となった。しかし、その後は米株価が堅調な動きとなり、ダウ平均や S&P500 が最高値を更新する動きとなったことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。なお、米株式市場では、ダウ平均株価が初めて 19500 ドル台まで上昇し、取引時間中、終値ベースの最高値を更新した。また、S&P500 も最高値を更新した。

2016年12月7日（水）

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	114.35	114.41	113.95
EUR/JPY	122.51	122.58	122.13
GBP/JPY	144.46	144.81	144.34
AUD/JPY	84.83	85.32	84.67
EUR/USD	1.0713	1.0728	1.0711

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.35	113.91
EUR/JPY	122.57	122.06
GBP/JPY	144.52	143.48
AUD/JPY	85.04	84.81
EUR/USD	1.0738	1.0710

＊東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.79	114.13	113.43
EUR/JPY	122.42	122.53	122.03
GBP/JPY	143.66	143.97	143.02
AUD/JPY	85.10	85.20	84.84
NZD/JPY	81.48	81.54	81.23
EUR/USD	1.0760	1.0769	1.0725
AUD/USD	0.7479	0.7484	0.7443

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19549.62	+297.84
S&P500	2241.35	+29.12
NASDAQ	5393.76	+60.76
日経225（CME）	18585	+175
トロント総合	15237.75	+111.95
ボルサ指数	45609.90	+506.68
ボベスパ指数	61414.40	+326.16

12/8 経済指標スケジュール

08:50 【日本】3Q GDP
08:50 【日本】3Q GDPデフレーター
08:50 【日本】10月経常収支
08:50 【日本】10月貿易収支
08:50 【日本】12月対内外証券投資
09:01 【英国】11月RICS住宅価格
09:30 【オーストラリア】10月貿易収支
11:00 【中国】11月貿易収支(時間不確定)
13:30 【日本】11月企業倒産件数
14:00 【日本】11月景気ウォッチャー調査
15:30 【フランス】3Q非農業部門雇用者
16:00 【トルコ】10月鉱工業生産
16:00 【南アフリカ】3Q BER消費者信頼感
16:30 【フランス】11月企業センチメント指数
17:30 【スウェーデン】11月個人消費
20:00 【南アフリカ】10月製造業生産
21:45 【欧州】政策金利発表
22:15 【カナダ】10月住宅着工件数
22:30 【米国】新規失業保険申請件数
22:30 【米国】失業保険継続受給者数
22:30 【カナダ】3Q設備稼働率
22:30 【カナダ】10月新築住宅価格指数
23:00 【メキシコ】11月消費者物価指数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1177.50	+7.40
NY 原油	49.77	-1.16
CMEコーン	358.00	-2.50
CBOT 大豆	1049.00	+1.25

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	1.100%	1.116%
3年債	1.365%	1.392%
5年債	1.798%	1.836%
7年債	2.144%	2.183%
10年債	2.347%	2.389%
30年債	3.030%	3.076%

ドイツ10年債	0.247%	0.373%
英国 10年債	1.359%	1.418%

12/8 主要会議・講演・その他予定

・ECB理事会
・ドラギECB総裁　定例会見

出所：SBILM

NY 市場レポート

21：00
≪ 経済指標の結果 ≫
米 MBA 住宅ローン申請指数（前週比） -0.7%（前回 -9.4%）

出所：Bloomberg

指標結果データ
≪MBA 住宅ローン申請指数≫

	12/2	11/25	11/18	11/11	11/4	前年同期
申請指数	-0.7	-9.5	5.5	-9.2	-1.2	-2.4
購入	0.4	-0.2	18.8	-6.2	1.4	2.8
借換え	-0.7	-16.2	-3.1	-10.9	-2.7	-7.1
固定金利	-1.0	-9.9	5.0	-9.4	-1.2	-2.1
変動金利	3.0	0.4	16.3	-4.1	-0.7	-6.2

0：00
≪ 経済指標の結果 ≫

10 月米 JOLT 労働調査[求人件数] 553.4 万件（予想 550.0 万件・前回 563.1 万件）
前回発表の 548.6 万件から 563.1 万件に修正

出所：Bloomberg

指標結果データ
≪JOLT 労働調査≫

	10 月・・	9 月・・	8 月・・	7 月・・	6 月・・	5 月・・	4 月
求人件数・・	553.4・・	563.1・・	545.3・・	583.1・・	564.3・・	551.4・・	584.5

10 月の米求人件数は、市場予想を上回る 553.4 万件となったが、前月の 563 万件から 9.7 万件減少となった。しかし、依然高い水準を維持した。10 月に雇用された労働者は 510 万人と、前月の 512 万人から減少。雇用率は 3.5%で前月から変わらず。内訳を見ると、求人はヘルスケアと社会援助の分野で過去最高だったほか、貿易や運輸、公益でも増えた。一方、専門職やビジネスサービス、建設では減少した。自発的離職者は約 299 万人で、前月の 305 万人から若干減少、離職率は 2.1%で、前月から変わらずとなった。解雇者は前月比ほぼ横ばいの 152 万人と、統計開始以来の最低水準に近い。

0：00
≪ 経済指標の結果 ≫

11 月英 NIESR GDP 予想　0.4%（予想　0.4%・前回　0.4%）

出所：Bloomberg

0：00
≪ 経済指標の結果 ≫

カナダ政策金利発表　0.50%（予想　0.50%・前回　0.50%）

出所：Bloomberg

0：30
≪EIA 米週間在庫統計≫

原油在庫・・・・239 万バレル減少
ガソリン在庫・・343 万バレル増加
留出油在庫・・・250 万バレル増加
クッシングの原油在庫・・378 万バレル増加

出所：Bloomberg

≪欧州のポイント≫

①英国の EU 離脱をめぐって EU 側の交渉責任者を務めるミシェル・バルニエ氏は、記者会見で英政府が約束通り来年 3 月末までに離脱を正式に通告した場合には、2018 年 10 月までに離脱について英政府と最終合意することを目指す方針であると述べた。リスボン条約 50 条を発動して離脱を正式に告知してから原則 2 年で交渉を終える必要があると規定されているということは、交渉に充てられる期間が 1 年半以下であることを意味すると指摘。英政府が 3 月に離脱を正式に通告しても、交渉が始まるまでには時間が必要となり、各国も批准にも時間を要する可能性があることから、英国は 2019 年 5 月の次回の EU 議会選前に離脱するという流れになる可能性が指摘されている。

②イタリアのレンツィ首相は、国民投票の結果を受けて 5 日(月)に辞意を表明したが、マッタレッラ大統領は 2017 年の予算成立まで現職に留まるよう要請していたこともあり、議会関係者は、レンツィ首相の辞表提出は 9 日(金)になると明らかにした。国民投票前、評論家や金融関係者のほとんどは、憲法改正案が否決され首相が辞任しても、現在の議会の任期である 2018 年まで暫定政府担うことになると予想していた。国民投票で憲法改正案が否決された後、国内では早期の総選挙実施を求める声が強まっており、イタリアのアルファノ内相は、レンツィ首相との会談後、早ければ 2 月に総選挙が実施される可能性を示唆した。

③イタリア政府が、ユーロ圏の金融安定網である欧州安定メカニズム（ESM）に 150 億ユーロの融資を求める方針だと、財務省筋の話として報じた。融資を受けた場合、イタリアは財政緊縮策を求められる。また、レンツィ首相辞任を受けて樹立される新たな政権は、年末までに融資活用に関する法案を通す必要がある。

≪ NY 債券市場 ・午前≫

序盤のニューヨーク債券市場は、ドイツや英国の鉱工業生産指数がいずれも市場予想を下回ったことを手掛かりに欧州経済の先行き不透明感が広がり、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。

午前の利回りは、30 年債が 3.04%（前日 3.08%）、10 年債が 2.35%（2.39%）、7 年債が 2.15%（2.18%）、5 年債が 1.80%（1.84%）、3 年債が 1.37%（1.39%）、2 年債が 1.10%（1.11%）。

≪欧州株式市場≫

欧州株式市場は、ECB 理事会で追加金融緩和を決めるとの期待感を背景に、主要株価は堅調な動きとなった。特に、独 DAX 指数は取引時間中の年初来高値を更新した。

出所：Bloomberg

≪ NY 金市場 ≫
NY 金は、中心限月が前日比 7.40 ドル高の 1 オンス＝1177.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、前日までの相場続落の反動で買い戻しが先行した。また、ドルが主要通貨に対して下落したことも金買いの後押し材料となった。

出所：Bloomberg

5：00
≪ 経済指標の結果 ≫

10 月米消費者信用残高　160.18 億 USD（予想　186.50 億 USD・前回　217.97 億 USD）
前回発表の 192.92 億 USD から 217.97 億 USD に修正

出所：Bloomberg

≪ NY 原油市場 ≫
NY 原油は、中心限月が前日比 1.16 ドル安の 1 バレル＝49.77 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油在庫統計で、引き渡し地点となるクッシングの在庫が増えたことが材料視され、供給過剰への懸念から売りが優勢となった。 また、OPEC 加盟国が減産合意を順守するかどうか不透明感が広がっていることも、引き続き圧迫要因となった。

出所：Bloomberg

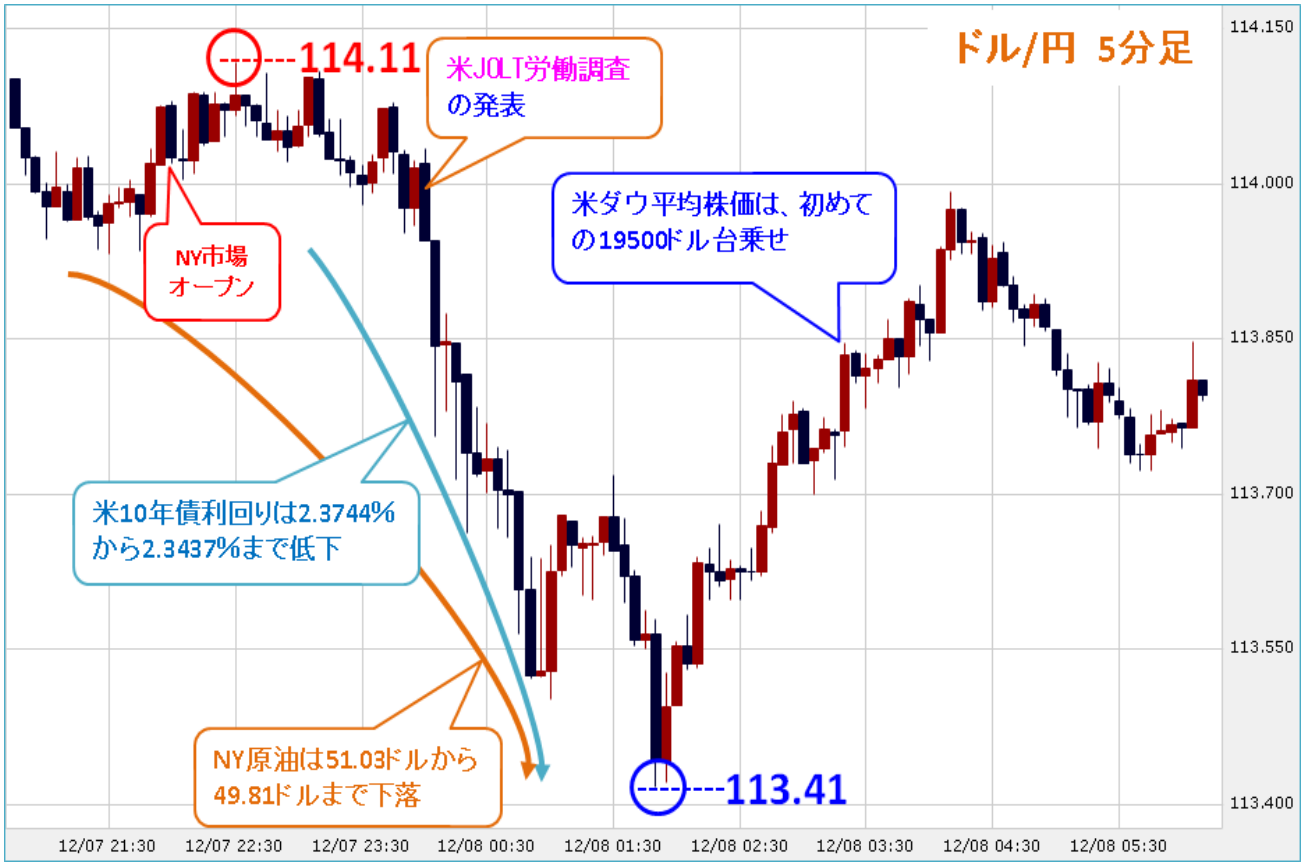
≪米株式市場≫

米株式市場は、取引材料が乏しく、ECB 理事会を控えて積極的な取引を手控えるムードもあり、序盤の主要株価は全般的に方向感に欠ける動きとなった。しかし、その後は堅調な動きが続き、主要株価は軒並み大幅高となった。ダウ平均株価は、一時前日比で 306 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新する動きとなり、終値ベースでも最高値を更新した。また、S&P500 指数の最高値を更新した。

出所：Bloomberg

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、序盤は堅調な動きとなったものの、原油価格や債券利回りの低下を受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きも見られた。しかし、株価が最高値を更新する動きとなったことから、ドル円・クロス円は終盤まで堅調な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。